# Grow One 財務会計

# 教員用

# GrowOne 財務会計 WEB システム操作マニュアル 【簡易版・研究費の発注】

2021 年 5 月 25 日 第 2 版 (理系管理課改訂版)

このシステムにログインするためには、学内ネットワーク接続申請を行い、 発行された IP アドレスが設定されているネットワーク環境の PC が必要です

#### ■GrowOne 財務会計 WEB システム (発生源) ログイン

(1) インターネットブラウザを起動し、「GrowOne 財務会計 WEB システム(発生源)」のアドレスを入力し、起動します。

URL:https://www.zaikai.jim.tmu.ac.jp/zkweb

「GrowOne 財務会計 WEB システム(発生源)」は、下記インターネットブラウザに対応しています。

OS	Internet	Microsoft	Fire Fox	Chrome	Safari
	Explorer	Edge			
Windows I O	0	0	0	0	_
MAC OS	ı	ı	0	0	0

- ※リリースされている最新バージョンをサポートしています。
- ※サポートするディスプレイ最低解像度は 1280×1024 ピクセル (SXGA) となります。
- (2) WEB システムログイン画面が表示されます。「ユーザーID」及び「パスワード」を入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。



\*初めてのログイン後、パスワードの変更を求められます。 (変更しない場合、同じパスワードを入力してください) (3) お知らせ情報画面が表示されたら、ログイン完了です。

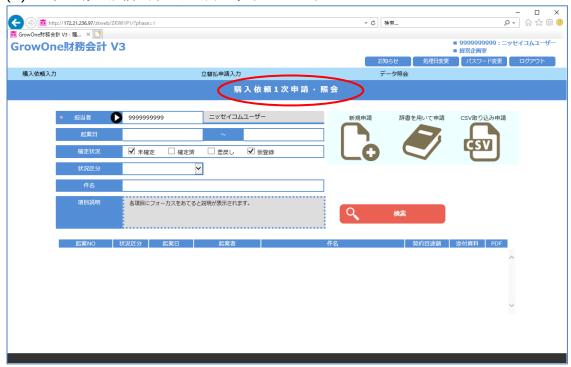


#### ■購入依頼Ⅰ次入力

(1)「購入依頼入力」→「購入依頼」次申請・照会」をクリックします。

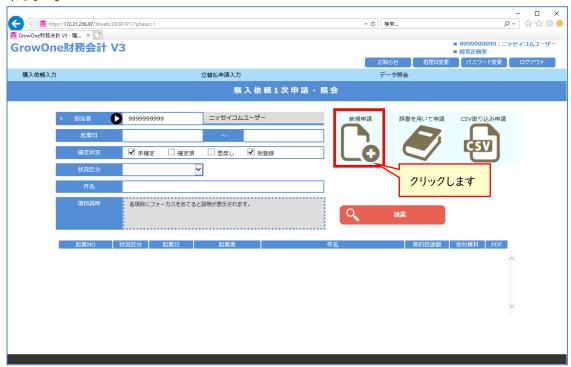


(2) 以下の購入依頼 | 次入力画面が表示されます。

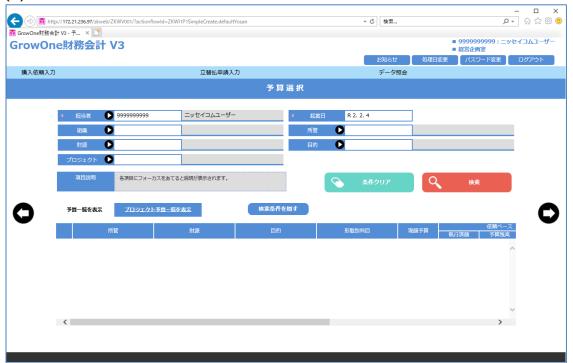


(3) 新規で申請を入力する場合は、「新規申請」を選択します。

※過去の申請と似た申請を行う場合、複写申請機能があります。詳細は20ページ以降をご覧ください。



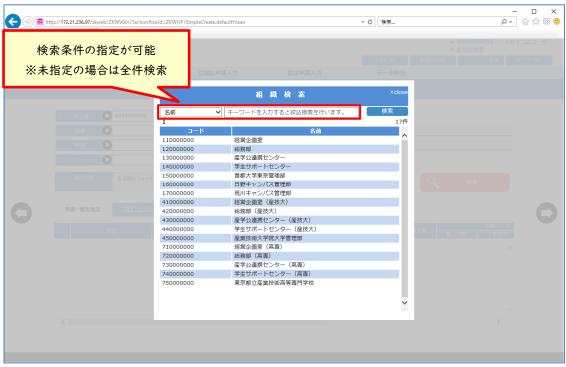
(4)「新規申請」を選択すると以下の予算選択画面が表示されます。



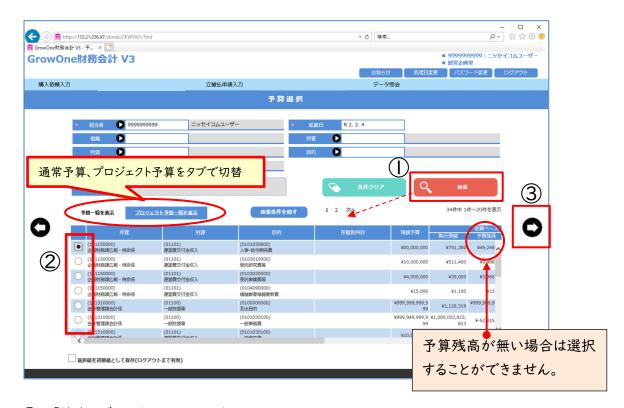
(5) 担当者にはログインしたユーザーの名前、起案日にはログインした日付が自動入力されています。



全ての入力画面を通じて ♪ ボタンのある項目については、ポップアップ検索が可能です。



(6) 予算の選択を行います。必要に応じて検索条件を入力し、検索ボタンをクリックします。この際、予算はログイン者が執行できる予算のみ、一覧に表示されます。 ※ブラウザの「戻る」ボタンではなく、画面左右のボタンを使用してください。



- ① 「検索」ボタンをクリックします
- ② 使用する予算を選択します(基本研究費など、執行できる予算のみ表示されます)
- ③ をクリックして次の画面に進みます

通常予算・・・一般財源のこと。基本研究費、傾斜的研究費 など

プロジェクト予算・・・科研費及び外部資金のこと。提案公募、受託研究、共 同研究、受託事業、特定研究寄附金など (7) 予算選択画面で ● をクリックすると、購入依頼 l 次申請入力画面に遷移します。購入依頼 l 次申請入力画面は、起案者や件名、支払相手先等の申請全体の基本的な情報を入力する部分(上段①)と、購入依頼の詳細情報を明細単位で追加する部分(下段②)とで構成されています。

申請全体の基本的な情報を入力する部分(上段①)の状況区分は「購入依頼・部局」、 起案日、起案者コード及び起案者名は自動入力されています。また、依頼先には、依頼先 の組織(事務局)が自動入力されています。



(8) 申請全体の基本的な情報を入力する部分(上段①)に必要事項を入力します。 \*マークの項目は入力必須項目です。



① <u>状況区分は 50 万円未満の案件の場合「研究費特例」を選択します、50 万円以上の案</u> 件の場合「購入依頼・本部」を選択します

「研究費特例」・・・研究費を使用する 50 万円未満の案件

「購入依頼・本部」・・・50 万円以上の案件(会計管理課契約係で見積競争等を実施し契約の相 手方を決定)

「購入依頼・部局」・・・教育費、間接経費等を使用する50万円未満の案件

- ② 起案日はログイン日が自動入力されています。原則として「発注した日」又は「見積書の日付」を入力してください。
- ③ 起案者コード/起案者名は自動入力されています
- ④ 件名は契約件名を入力します。換金性の高い物品を購入した場合には件名の最初に「換)」を、金券類を購入した場合には件名の最初に「金)」を入れてください。
  - 【例】「・・・の購入」、「・・・・の委託」、換金性の高い物品の場合「換)」デスクトップ PC の購入」、 金券類の場合には「金)切手の購入」
- ⑤ 依頼先コード/依頼先は事務局名が自動入力されています
- ⑥ <u>50 万円未満の案件の場合には、</u>相手先コードを入力するか、**②** ボタンをクリックし、業者 名を入力して検索してください。
- ⑦ 単価 IO 万円以上の物品を購入し、資産登録をしない場合には、メモ欄にその旨を入力してください。(2021年度第2版追加)

⇒入力が終わったら、「明細を追加する」をクリックして次の画面に進みます

(9) 「明細を追加する」をクリックすると以下の明細登録画面が表示されます。



(10) 画面左側には、予算選択画面にて予算を選択済の場合、そこで選択した情報が自動入力されています。(予算を選びなおす場合、「予算を選択」をクリックし、再度予算選択画面にて予算を選択することが可能です。)

右側には品名、数量、税区分、納入期限、納入場所の購入情報を入力します。 また、備品、固定資産を購入する場合、資産管理も選択してください。

(科研費予算執行の場合には、形態別科目も入力が必須となります)



科研費予算執行の際の形態別科目は以下の中から該当する費目を選択します

種別	科研費	厚労科研	研究成果公開促進費
			(学術図書、ひら☆とき等)
費目	物品費	設備備品費	直接出版費
	旅費	消耗品費	翻訳·校閲経費
	人件費·謝金	人件費	物品費
	その他	謝金	旅費
		内国旅費	人件費·謝金
		外国旅費	その他
		委託費	会場借料
		その他	消耗品費
			招へい旅費

(11) 必要事項を入力します。\*マークの項目は入力必須項目です。 (科研費予算執行の場合には、形態別科目も入力が必須となります) 入力を終え、内容に問題がなければ追加ボタンをクリックします。



- ①~⑤ 自動入力自動入力されています ※執行所管が入力されていなかった場合には所管と同じコードを入力してください)
- ⑥ 科研費の場合は該当する費目を選択します(前頁の費目表を参照してください)
- ⑦ 品名は「別紙のとおり」が自動入力されていますので、入力の必要はありません。
- ⑧ 数量は「Ⅰ」、単位は「式」を選択してください
- ⑨ 単価は見積書の総額又は契約目途額を入力してください
- ⑩ 税区分は「仕入 10%税込切捨」が自動入力されています(科研費の場合、全て不課税仕 入となりますが、変更していただかなくて構いません。)
- ② 納入場所(例:8号館)を入力してください

ただし、少額資産(単価 10 万円以上で、1年以上の使用が見込まれるもの)、固定資産を購入する場合は設置場所の建物名及び部屋番号まで必ず正確に選択してください。納入場所コードの♥ボタンをクリックすると各部屋を検索し選択することができます。絞込検索を行う場合には8号館、416など、建物、部屋番号は半角数字で入力してください。)

③ 少額資産、固定資産を購入した場合には資産管理から該当する項目を選択してください (2021年度第2版修正・「換金性の高い物品」を削除)

※図書を購入した場合には、別途 excel 様式の物品購入等支払通知書を作成してください。(2021 年度第 2 版修正・単価 10 万円以上の物品を購入し、資産登録をしない場合の取扱い変更)

少額資産	税込単価 10 万円以上 50 万円未満の物品
固定資産	税込単価 50 万円以上の物品
換金性の高い消耗品	税込単価 10 万円未満の物品で、以下に該当するもの
	・パソコン(本体、ディスプレイ、増設メモリ、外付
	HDD・SSD)、タブレット型コンピュータ
	・プリンタ、スキャナ(複合機含む)
	・携帯電話、スマートフォン
	・カメラ(フィルムカメラ、デジタルカメラ、ビデオ
	カメラ、交換レンズ)
	・録画機器、録音機器、テレビ

⇒入力が終わったら、「追加」をクリックしてもとの画面に戻ります

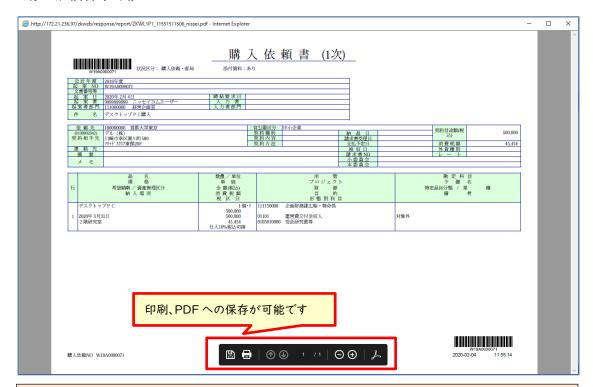
(12)「追加」ボタンをクリックすると購入依頼 I 次申請入力画面に戻り、登録した明細情報が表示されます。なお、複数明細登録する場合は、(I3)からの処理と同様に登録します。また、登録済の明細を修正・削除することも可能です。



(13) すべての入力が完了したら、「登録」ボタンをクリックします。「PDF表示」にチェックを入れて登録すると、同時に『購入依頼書(I次)』が出力されます(『購入依頼書(I次)』 は後から出力することも可能です)。

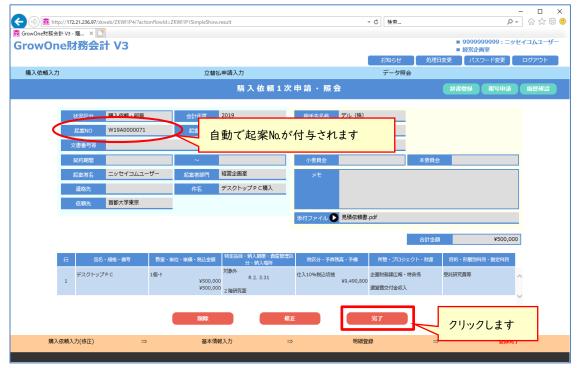


#### ·購入依頼書(I次)



印刷の上、見積書・納品書・請求書とあわせて事務室に提出する書類になります (従前の購入等

(14) 登録が完了すると、登録完了画面が表示されます。また、一申請に一意で採番される起案 NO が付与されます。完了をクリックし、購入依頼 I 次申請の作成を完了しますので、この後、書類の提出前までに I 7ページ以降の確定処理を行ってください。



(15) 完了をクリックすると、購入依頼 I 次申請・照会画面へ遷移します。この画面では、登録済申請を検索することが可能です。検索したい申請の確定状況に応じて、チェック欄にチェックを入れて検索してください(「未確定」「仮登録」に初期チェックが入いるため、検索したい申請が「確定済」である場合には、「確定済」にもチェックを入れて検索してください)。なお、「PDF」の出力をクリックすると、該当申請の購入依頼書を出力することが可能です。

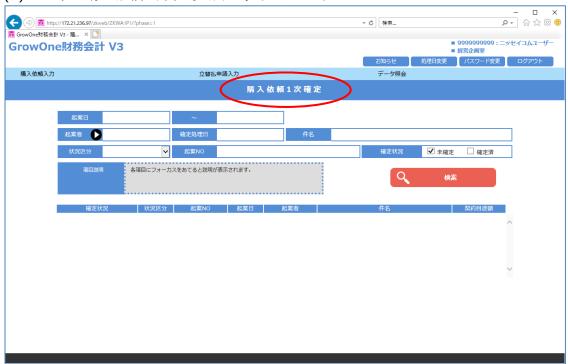


#### ■購入依頼 | 次確定入力

(1) 入力した購入依頼伝票の確定処理を行います。



(2) 以下の購入依頼 | 次確定画面が表示されます。



(3) 検索条件等に条件を入力し、作成した購入依頼伝票を検索します。



- ① 検索条件を入力します(確定状況の未確定に ≥を入れた状態で検索すると、未確定の 購入依頼伝票が全て表示されます。件数が多い場合には、起案日、件名等で絞込を行っ てください
- ② 「検索」ボタンクリックで検索結果を表示します ※対象の明細をクリックすると、伝票内容を確認する画面に進みます

(4) 入力した伝票に問題が無ければ確定処理を行います。



確定確認画面が表示されます。内容確認後、戻るボタンで戻ります。

→確定処理が完了したら、作成した購入依頼書(I次)と見積書、納品書(検収済)、請求書を 事務室まで提出してください。

## 【過去の申請と似た申請をする場合】

#### 過去の申請と似た申請をする場合

各種の申請はいつでも財務会計システムの画面上から確認することができます。

そのデータを使用して、以前行った申請と内容が類似した申請をしたい場合、前回に申請 した際の情報を利用(複写)して、簡単に新たな申請を作成することができます。

※その際、元の申請の内容が変更されることはありません。

あくまでも複写なのでコピーを取って必要な箇所だけ上書き(変更)するというイメージです。

#### ■複写申請機能

(1) 複写申請機能では、登録済のデータ内容を複写し新規申請として登録を行うことが可能です。複写申請を行う場合、複写元とする登録済伝票を呼び出します。



(2) 複写元とする登録済伝票を呼び出したら、申請入力画面右上の「複写申請」ボタンをクリックします。



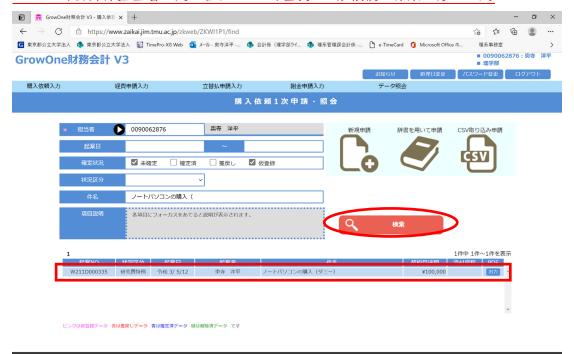
(3)「複写申請」をクリックすると、複写元の申請内容が入力された状態で、申請入力画面に 遷移します。通常申請時と同様の手順で適宜修正を行い、新規申請として登録を行います。



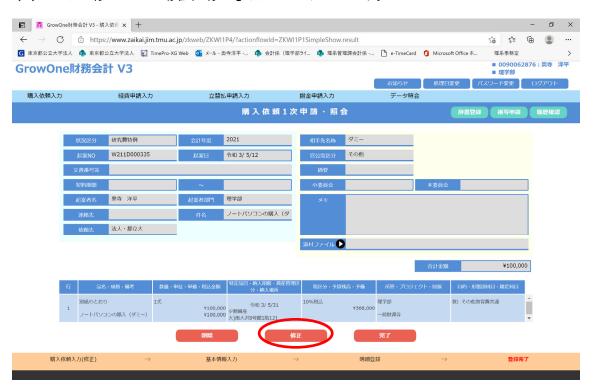
### 【登録したデータを修正・削除する場合】(2021年度第2版追加)

- (1) 購入依頼 I 次申請・照会画面で、件名等に必要に応じて検索したい語句を入力し、「検索」ボタンをクリックして、修正または削除を行いたいデータを呼び出してください。
- (2) データが呼び出されたら、該当するデータ行をクリックしてください。

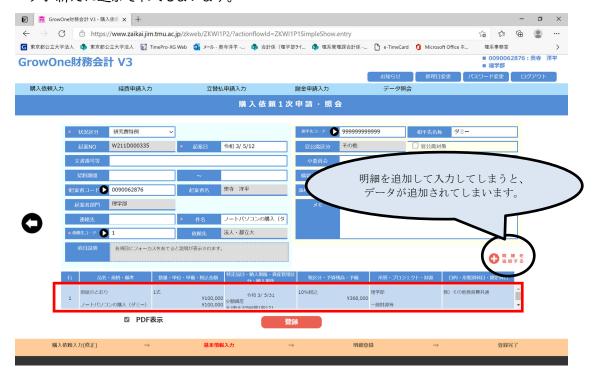
※修正、削除が可能なデータは未確定、仮登録、差戻しされたデータのみとなります。確定済のデータは、会計係担当者に問い合わせの上、差戻しを依頼後に作業を行います。



(3) データを修正したい場合、「修正」ボタンをクリックします。



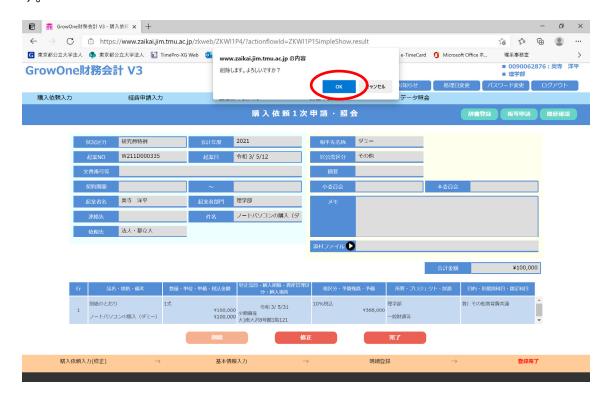
(4) データの登録画面に遷移しますので、必要に応じて修正を行い、「登録」ボタンをクリックし、修正後の購入依頼書(1次)を印刷してください。明細を修正する場合には、明細のデータ行をクリックし、修正してください。「+明細を追加する」をクリックしてしまうと、修正ではなく、データが新たに追加されてしまいます。



(5) データを削除したい場合、「削除」ボタンをクリックします。



(6)「削除します。よろしいですか?」というメッセージが出ますので、「OK」ボタンをクリックします。



(7) データが削除された状態になります。

